

2022年度 看護部委員会活動

2022年度は6月に医療機能評価の更新審査があり、審査に向けマニュアルや業務を見直し、更なる整備に努めました。

委員会名	委員会活動
主任会	看護手順や電子カルテ業務マニュアルを見直し修正 医事課と連携し加算に関する知識を深め積極的な取得への取り組み 接遇研修も企画しました。
教育委員会	看護部教育部門を立ち上げ、教育委員会と連携を強化し教育体制を見直 しました。 院内研修プログラムに沿った研修の企画・運営、看護研究の開催 新入職員の教育指導チェックリストの見直し、修正を行いました。
事故防止対策委員会	医療安全標語の作成、事故防止対策新聞としてタイムリーな時事テーマ や周知したい内容の新聞発行を行いました。レジリエンス力を高めるた めにGood-Jobシートの作成、「チームステップス」をテーマにした研 修も開催しました。
記録委員会	看護記録基準、監査表の見直し修正とNANDA-I看護診断を用い看護過 程が展開できるようNANDA-I看護診断について研修を実施し看護の質 向上に繋がるように努めた。
リンクナース委員会	環境整備チェックリストに沿った環境整備や環境ラウンド、手指消毒使 用量チェック、直接観察法による感染対策遵守率調査を行い、院内感染 対策マニュアルに基づく感染対策の周知徹底に取り組んだ。
褥瘡委員会	診療報酬改定に伴い「褥瘡対策に関する診療計画書」の修正と多職種介 入によりスムーズな褥瘡対策が行えるよう運用の見直しを行った。また 新たなエアマット、体交まくらを用い安全で効果的な使用方法について 研修を実施し、褥瘡対策の質向上に繋げた。
看護助手会	新たに間接業務、直接業務マニュアルを作成し各部署での看護助手業務 の統一を図った。直接業務については未完成であるが安全に看護助手業 務が行えるように次年度も引き続き取り組んでいきます。

院内委員会活動としてNST委員会、緩和ケア委員会、パス委員会にも質向上
に向け積極的に活動しました。

また当院が得意とする呼吸器疾患や自己免疫疾患に関する知識を深め質の向
上を図るため呼吸ケアワーキングチームやリウマチケアワーキングチームに
よる活動も行っています。